

つきたい力

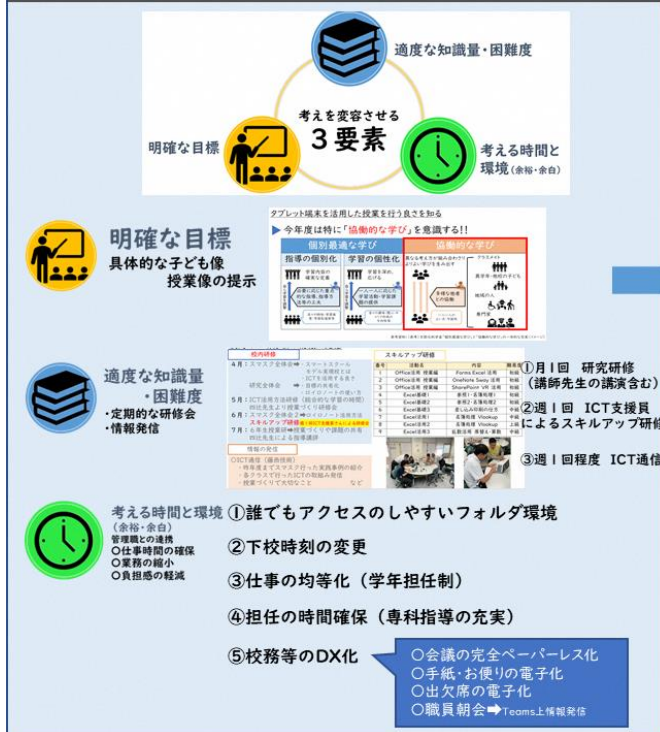
- 自ら課題を発見し、継続して取り組み、解決できる力（没頭）
- 他者と協働し、考えを深める力（協働力）

取組みの概要・ポイント

- ◎ICTを全教職員で活用するための、学校全体の仕組みづくり(考えを変容させる3要素)
○子ども一人ひとりが没頭できる授業デザインの構築【ゴールから逆算した授業づくり】
○タブレット端末活用の3階層(ピラミッド)・学びのルーブリックの活用・授業支援ソフトの活用

具体的な取組みの内容

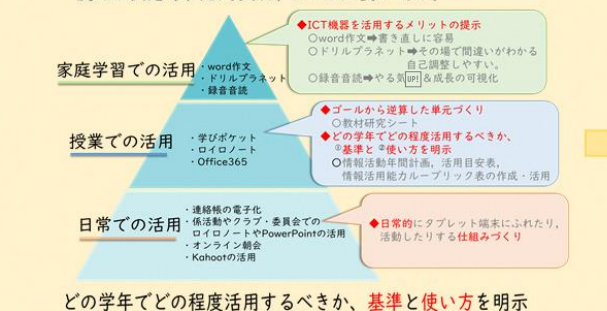
 ? 何をすれば学校としてICT
を推進できるの？



 **授業でICT機器を活用する
ためにはどうすればいいの?**

タブレット端末を使用するだけ ×
 タブレット端末を活用して、研究目標を達成することが重要

➡ 学習で効果的に使うためには、タブレット端末を日常的に使える状態（筆記用具化）させる必要がある。



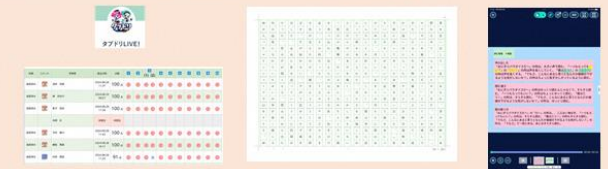
どの学年でどの程度活用すべきか、**基準と使い方**を明示



 授業でICT機器を活用する
ためにはどうすればいいの？ **実践**

家庭学習での活用

- ①デジタルドリルなどの反復学習 ②デジタル作文 ③録音音読



授業での活用

ロイロノートの活用



Office365の活用



日常での活用



取組みを通しての子どもの変容

- ・タブレット端末をどの学級でも日常的に活用したことで、自然と子どもが学習の中でタブレット端末を活用することができるようになった。また、タブレット端末を活用することで、自分の考えを整理したり、友だちの考えと自分の考えを比較しやすくなった。
- ・思考の整理や比較などに加え、学習のまとめで、これまで行ってきた紙の新聞や発表、リーフレットなどの表現方法以外にも幅（デジタル新聞・動画・CMづくりなど）が広がり、子どもたちは自分にあった方法で表現できるようになった。
- ・ゴールから逆算した授業づくりを行うことで、子どもたち一人ひとりが単元のゴール（学びの目的）が明確になりその結果、学びに没頭する姿が多くみられるようになった。



情報活用能力を育むカリキュラム等